

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

当院での胆嚢炎に対する治療戦略および治療成績に関する検討

2. 研究の対象患者

当院において2020年1月1日から2021年12月31日までの2年間に、当院で外科治療を行われた胆嚢炎患者さんで、以下の選択基準を満たし、除外基準のいずれにも該当しない患者さん

・ 選択基準

1) 切除標本の病理組織診断において胆嚢炎と診断された患者さん

・ 除外基準

1) 他疾患の手術の際に同時に切除された症例

2) そのほか、研究責任(分担)者が研究対象者として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

2020年1月1日～2021年12月31日

4. 研究の概要

急性胆嚢炎は多くの場合が胆石に起因する急性炎症疾患であり、特に中等症以上の重症例においては、急性期に胆嚢摘出術もしくは胆道ドレナージを行わなければ重篤な臓器障害に移行する可能性があり、早期にガイドラインに則った治療方針の立案が必要である。しかし手術リスクの高い症例に対する至適手術時期や至適術式(開腹手術もしくは腹腔鏡手術)、胆道ドレナージ後の至適手術時期など、一定の見解を得られていない問題点も多く認める。そこで本研究では当院での急性胆嚢炎治療を後方視的に検討し、治療の安全性、有効性について検討する。本研究により、当院での急性胆嚢炎の治療方針を見直し、治療成績を評価することで、さらに急性胆嚢炎の治療成績を向上させていくことが期待できる。

5. 研究実施予定期間

2022年9月21日～2025年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

- 1) 患者背景：性別、年齢(歳)、胆嚢炎発症日、胆嚢炎診断日、胆嚢炎治療開始日
- 2) 胆嚢炎治療開始時の血液検査所見(WBC、白血球分画、Hb、Plt、AST、ALT、LDH、ALP、 γ -GTP、CRP、T.Bil、BUN、Cre、PT活性、PT-INR)、およびその推移
- 3) 手術日、手術術式、手術時間、出血量、術後合併症の有無およびその内容と治療方法、術後在院日数

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果を研究対象者(又は代諾者)個々に開示することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方に

ご了承くださいない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

（連絡先） 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： 外科 宮田陽一

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)